

12月1日は世界エイズデー

令和3年度世界エイズデーキャンペーン

テーマ「レッドリボン30周年～Think Together Again～」

令和3年度は、岐阜市内の中学、高校、大学、専門学校10校がレッドリボンフラッグ作成に参加されました。各校から「HIV・エイズ患者に差別や偏見を持たないこと、そのために現状を知り、知識を持つことが大切」というメッセージが寄せられました。それぞれの思いが込められたフラッグとメッセージをご紹介します。(メッセージは紙面の都合により編集しております。)

レッドリボンフラッグは、11月16日～12月10日まで、神田町5丁目の交差点付近に展示しています。



〈岐阜市医師会看護学校〉

今回のレッドリボン作成にあたり、1人でも多くの人にエイズについての正しい知識を持ってもらいたいと考えました。

そして、偏見をなくし地球で暮らす全ての人がある人らしい生活を送れるようになってほしいとの願いがあります。その願いを込めて、地球全体が愛に包まれるイメージをもって今回のフラッグを完成させました。

〈厚見学園 厚見小中学校〉

中学校の保健委員会の生徒がデザイン画を考え、小学校の児童がレッドリボンを作りました。小中一貫校、厚見学園としての作品です。

レッドリボン運動30周年を記念して、バラの花束がレッドリボンに温かく包まれるイメージを表現しました。

エイズで苦しんでいる人々を差別しない、誰もが平和に生きられる世界になるようにという願いを込めました。





〈岐阜保健大学 看護学部〉

学校でエイズについて学び、私たちにも何かできることはないか考えたところ、岐阜市の「レッドリボンフラッグ」という活動があり、今年で30周年を迎えるということを知りました。エイズについて、一人でも多くの人に知ってもらいたいという気持ちや、エイズで苦しむ人たちへの応援のメッセージをレッドリボンに込め、さらに着なくなった服を集め作品の一部にし、SDGsにも目を向けたものにしました。大切に気持ちを込めて作らせていただきました。

〈岐阜大学 ピアカウンセリング同好会 シグマソサエティ〉

エイズで苦しむ人々のためにレッドリボンをシンボルとした運動が始まって30年ということで、ハート型のレッドリボンには今後もこうした運動が受け継がれ、支援の輪が広がっていくようにとの願いを込めました。

このフラッグが治療の進歩や予防の選択肢などの正しい知識を持ってもらうきっかけになれば嬉しいです。





〈済美高等学校〉

私たち一人ひとりがエイズについて正しく理解することで、エイズに対する偏見や差別をなくしていくことができる。そのような気持ちを込めて、クラスごとにレッドリボンを作成しました。

この全31クラス分のレッドリボンのように、みんなで共に支えあっていける社会になることを願っています。

〈岐阜市立女子短期大学〉

このポスターを見た一人でも多くの人たちにエイズについて興味を持っていただきたいと思い作成しました。

地球を大きなレッドリボンで包み込むことによって、エイズと共に生きる人たちが、差別や偏見に苦しめられることなく自らの人生を歩んでいけるような世の中になってほしい、また、世界中の人々がエイズという病気を理解し、エイズ患者に優しく寄り添うような世界になるようにと思いを込めました。





〈岐阜聖徳学園大学附属中学校〉

世界中の一人一人がエイズのことを他人事だと思わずに、また、人種など関係なしに支えていける社会が実現してほしいという思いを込めてデザインしました。

エイズに対する差別や偏見をなくすためには、まずエイズについての関心を持ち、正しい知識や理解を持つことが大切だと思います。

レッドリボン30周年の今年、このフラッグをきっかけに、少しでも多くの人にレッドリボンとは何かや、エイズの現状などについて関心を持ってもらえたら嬉しいです。

〈梅林中学校〉

HIV 感染者やエイズの人たちに対して、偏見やいじめの声ではなく、この絵のように「箱」にたとえた心から、ハートのような優しく温かい応援の言葉を届けてほしいという願いを込めて作成しました。





〈長森南中学校〉

生徒保体委員会が中心となり、全校生徒協力のもと、レッドリボンフラッグを作成して7年目を迎えました。

今年のテーマである「レッドリボン30周年～Think Together Again～」に込められたレッドリボンをメインにして、エイズに偏見を持っていない、エイズと共に生きる人々を差別しない、エイズについての知識を持つ、などの気持ちをレッドリボンに託しました。

〈岐阜市立看護専門学校〉

今の世界の HIV 感染者は 3770 万人と推定されています。そして、AIDS や HIV に関する強い偏見を持っている人が世間にたくさんいるため、なかなか打ち明けられない方が多いのが現状です。

そんな方が一人でも減りますように、と思いを込めて、このレッドリボンフラッグを作りました。

